牛伏の流れ

松本市立明善中学校
文責：伊藤　彬

生徒たちの笑顔と輝きがあふれた緑明祭

10月2日（金）、3日（土）の2日間にわたり、緑明祭が開催されました。今年度の生徒会スローガン「架け橋」のもと、生徒たちが仲間と協力しながら、さまざまな活動に挑戦し、笑顔と感動にあふれる緑明祭となりました。


映画で人気のキャラを使った劇で、開祭式を盛り上げました


開祭式に、明善小学校の6年生を招待しました



全校生徒で制作したモザイク壁画

1日目は、開祭式から活気にあふれたスタートとなりました。 生徒会役員による工夫を凝らした劇で会場が盛り上がる中、全校で制作してきたモザイクアートが披露されると、会場からは歓声が上がりました。参観された保護者や地域の皆様からも、感動の声が聞かれました。

午前中は、生徒会企画として学年の枠を超えた縦割りグループで校内の各ブースを巡りました。仲間と協力して問題を考えたり、ゲームを運営したりしながら、一人一人が役割を果たしていました。活動を通して、普段とは異なる学年の仲間と関わり、交流を深める姿が多く見られました。


展示見学をする生徒たち


美術の展示部屋


生徒会企画の様子


壁一面に展示された作品

企画展示では、これまでの学習で学んだことや、授業で制作した作品などが紹介されました。教科や学年ごとに工夫された展示を見て回り、生徒たちは互いの学びや成果に触れながら、学習への理解を深めていました。


多種目リレー


全員リレー


学年の枠を超えた円陣で、絆を深めました

午後は、晴天の下で運動会が行われました。「借り人競争」では、お題に合う人を見つけようと、大きな声で呼びかけ合う姿が印象的でした。「多種目リレー」では、仲間と力を合わせてゴールを目指し、絆を深めました。そして、最後の「全員リレー」では、どの学年も熱い走りを見せました。特に３年生のレースは、僅差でのゴールとなる大接戦でした。互いの健闘をたたえ合い、他学年からも惜しみない声援が送られました。会場全体が一つになった、心に残る時間となりました。


縦割りチームで撮った記念写真

２日目は、音楽会で合唱発表が行われました。どの学級も、それぞれのよさが感じられる素晴らしい歌声を響かせました。自分たちの発表だけでなく、ほかの学級の合唱にも耳を傾け、よかったところを認め合い、互いの努力をたたえる姿が見られました。今年度は、順位を競うコンクール形式ではなく、互いのよさを認め合う発表形式としました。順位にとらわれず、仲間と歌う楽しさや、それぞれの学級のよさを感じる機会になったのではないでしょうか。最後の全校合唱では、「ビリーブ」の歌声が体育館いっぱいに広がり、会場が温かな一体感に包まれました。


音楽会では、どのクラスも素敵なハーモニーを響かせました


全校で「ビリーブ」を歌い、音楽会を締めくくりました

閉祭式では、生徒会長が、緑明祭を通して「つなぐ、いどむ、かがやく」という三つの姿を体現できたこと、そして全校生徒で大きな架け橋をつくることができたことを振り返りました。

ご来場いただいた保護者の皆様、地域の皆様には、生徒たちの活躍や挑戦する姿を温かく見守っていただき、ありがとうございました。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。